

8 参考データ

(1) 0日・0か月児の死亡事例について（心中以外の虐待死）

平成28年度に把握した心中以外の虐待死事例（49人）のうち、0歳児の死亡人数は32人であり、心中以外の虐待死による死亡人数全体の6割以上を占めている。その中でも、生後24時間に満たない死亡と考えられる日齢0日児の死亡事例（以下「日齢0日児事例」という。）と、日齢1日以上月齢1か月未満児の死亡事例（以下「月齢0か月児事例」という。）を合わせた0日・0か月児の心中以外の虐待死事例（以下「0日・0か月児事例」という。）が0歳児の死亡事例の中でも一定の割合を占めていることを踏まえ、経年のデータとして以下に取りまとめた。

なお、平成28年度に把握した0日・0か月児事例については、日齢0日児事例が11人、1～9日で死亡した児の事例は3人、10日以上が2人であった。

① 0歳児及び0日・0か月児事例の発生状況

平成28年度に把握した0歳児の心中以外の虐待死事例は、32人で6割以上を占めており、第13次報告と比較すると、人数、割合ともに増加した。

また、0歳児の死亡事例のうち、0日・0か月児事例は16人で半数を占めている。

表8-1-1 0歳児の心中以外の虐待死事例の死亡人数の推移（心中以外の虐待死）

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次	第11次	第12次	第13次	第14次	総数
人数	11	23	20	20	37	39	20	23	25	22	16	27	30(4)	32(11)	345
割合	44.0%	46.0%	35.7%	32.8%	47.4%	58.2%	40.8%	45.1%	43.1%	43.1%	44.4%	61.4%	57.7%	65.3%	47.5%

※ 割合：各年次報告における心中以外の虐待死事例に占める0歳児の割合

表 8-1-2 0日・0か月児事例の死亡人数の推移と0歳児の心中以外の虐待死事例における割合

年次	0日	0か月	総数	構成割合	0歳
第1次報告	1	1	2	18.2%	11
第2次報告	6	2	8	34.8%	23
第3次報告	8	0	8	40.0%	20
第4次報告	8	1	9	45.0%	20
第5次報告	16	1	17	45.9%	37
第6次報告	22	4	26	66.7%	39
第7次報告	6	1	7	35.0%	20
第8次報告	9	3	12	52.2%	23
第9次報告	7	4	11	44.0%	25
第10次報告	11	0	11	50.0%	22
第11次報告	4	0	4	25.0%	16
第12次報告	15	0	15	55.6%	27
第13次報告	11 (2)	2 (0)	13 (2)	43.3%	30 (4)
第14次報告	11 (3)	5 (0)	16 (3)	50.0%	32 (11)
総数	135	24	159	46.1%	345

表 8-1-3 0日・0か月児事例の日齢別死亡人数 (第14次)

区分	人数
0日	11 (3)
1~9日	3 (0)
10日以上	2 (0)
計	16 (3)

② 0日・0か月児事例の概要

ア 0日・0か月児事例の加害者

0日・0か月児事例における虐待を行った加害者について、平成28年度に把握した事例では、0日児は「実母」が8人で最も多かった。また、第1次報告から第14次報告までの累計でも、「実母」が加害者であった事例は142人であり、全体の89.3%を占めていた。

表8-1-4 0日・0か月児事例の加害者（第14次）

区分	0日児	0か月児
実母	8 (2)	4 (0)
実母・実父	3 (1)	1 (0)
計	11 (3)	5 (0)

表8-1-5 0日・0か月児事例の加害者（第1次から第14次報告までの累計）

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母	124 (4)	91.9%	18 (0)	75.0%	142 (4)	89.3%
実父	1 (0)	0.7%	2 (0)	8.3%	3 (0)	1.9%
実母・実父	8 (1)	5.9%	4 (0)	16.7%	12 (1)	7.5%
その他	1 (0)	0.7%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.6%
不明	1 (0)	0.7%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.6%
計	135 (5)	100.0%	24 (0)	100.0%	159 (5)	100.0%

イ 死亡につながった虐待の類型

平成28年度に把握した0日・0か月児事例における虐待の類型は、0日児は、「ネグレクト」が7人（63.6%）、次いで「身体的虐待」が3人（27.3%）であった。

0か月児は、「ネグレクト」が3人（60.0%）、次いで「身体的虐待」が2人（40.0%）であった。

表8-1-6 0日・0か月児事例の虐待の類型

区分	第7次		第8次		第9次		第10次		第11次		第12次		第13次		第14次		総数																			
	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児	0日児	0か月児																		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合																		
身体的虐待	3	50.0%	1	100.0%	3	33.3%	4	100.0%	4	57.1%	3	75.0%	3	27.3%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	5	33.3%	0	0.0%	6	54.5%	2	100.0%	3	27.3%	2	40.0%	28	37.8%	12	75.0%
ネグレクト	3	50.0%	0	0.0%	4	44.4%	0	0.0%	2	28.6%	1	25.0%	6	54.5%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%	8	53.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	7	63.6%	3	60.0%	34	45.9%	4	25.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%	2	13.3%	0	0.0%	3	27.3%	0	0.0%	1	9.1%	0	0.0%	12	16.2%	0	0.0%
計	6	100.0%	1	100.0%	9	100.0%	4	100.0%	7	100.0%	4	100.0%	11	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%	15	100.0%	0	0.0%	11	100.0%	2	100.0%	11	100.0%	5	100.0%	74	100.0%	16	100.0%

ウ 遺棄の有無と遺棄された場所

平成28年度に把握した0日・0か月児事例において、0日児は「遺棄あり」が10人(90.9%)であり、遺棄された場所は「自宅」が4人(36.4%)、自宅外が6人(54.5%)であった。

0か月児は「遺棄あり」が3人(60.0%)であり、遺棄された場所は「自宅」が2人(40.0%)、自宅外が1人(20.0%)であった。

表8-1-7 0日・0か月児事例における子どもが遺棄された場所(第14次)

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	1(0)	9.1%	2(0)	40.0%
遺棄あり	10(3)	90.9%	3(0)	60.0%
自宅	4(1)	36.4%	2(0)	40.0%
自宅外	6(2)	54.5%	1(0)	20.0%
計	11(3)	100.0%	5(0)	100.0%

表8-1-8 0日・0か月児事例における子どもの遺棄の有無と遺棄された場所

(第1次から第14次報告までの累計)

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	10(0)	7.4%	13(0)	54.2%	23(0)	14.5%
遺棄あり	122(5)	90.4%	11(0)	45.8%	133(5)	83.6%
自宅	58(2)	43.0%	5(0)	20.8%	63(2)	39.6%
自宅外	64(3)	47.4%	6(0)	25.0%	70(3)	44.0%
不明	3(0)	2.2%	0(0)	0.0%	3(0)	1.9%
計	135(5)	100.0%	24(0)	100.0%	159(5)	100.0%

エ 直接の死因

第1次報告から第14次報告までの累計をみると、「窒息(絞殺以外)」による死亡事例が57人(有効割合47.9%)と最も多い傾向がみられた。

表8-1-9 0日・0か月児事例における死因(第1次から第14次報告までの累計)

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、放置	28(2)	20.7%	28.6%	4(0)	16.7%	19.0%	32(2)	20.1%	26.9%
窒息(絞殺以外)	48(1)	35.6%	49.0%	9(0)	37.5%	42.9%	57(1)	35.8%	47.9%
絞殺	8(0)	5.9%	8.2%	4(0)	16.7%	19.0%	12(0)	7.5%	10.1%
その他	14(1)	10.4%	14.3%	4(0)	16.7%	19.0%	18(1)	11.3%	15.1%
不明	37(1)	27.4%	/	3(0)	12.5%	/	40(1)	25.2%	/
計	135(5)	100.0%	100.0%	24(0)	100.0%	100.0%	159(5)	100.0%	100.0%

オ 事例が発覚した経緯

平成28年度に把握した0日・0か月児事例が発覚した経緯は、0日児は、「家族その他の同居者が遺体を発見」が3人（27.3%）であった。「その他」としては、「消防が「出血した女性が病院に搬送された」と警察に通報したことで判明」や「ごみ収集業者が遺体を発見し、警察に通報したことで判明」等があった。

表8-1-10 0日・0か月児事例が発覚した経緯（第14次）

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
近隣住民・知人が遺体を発見	1 (0)	9.1%	0 (0)	0.0%
家族その他の同居者が遺体を発見	3 (0)	27.3%	0 (0)	0.0%
その他	7 (3)	63.6%	5 (0)	100.0%
計	11 (3)	100.0%	5 (0)	100.0%

カ 出産した場所

0日・0か月児事例における実母が本児を出産した場所について、第1次報告から第14次報告までの累計で見ると、0日・0か月児事例全体における「自宅」※での出産が98人（有効割合67.6%）、特に、日齢0日児事例における「自宅」での出産が92人（同76.0%）と高い割合を占めていた。また、日齢0日児事例において、第1次報告から第14次報告までの累計で見ると、医療機関での出産はなかった。

表8-1-11 0日・0か月児事例における出産場所（第1次から第14次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	92 (4)	68.1%	76.0%	6 (0)	25.0%	25.0%	98 (4)	61.6%	67.6%
自宅外	29 (0)	21.5%	24.0%	5 (0)	20.8%	20.8%	34 (0)	21.4%	23.4%
医療機関	0 (0)	0.0%	0.0%	13 (0)	54.2%	54.2%	13 (0)	8.2%	9.0%
不明	14 (1)	10.4%		0 (0)	0.0%		14 (1)	8.8%	
計	135 (5)	100.0%	100.0%	24 (0)	100.0%	100.0%	159 (5)	100.0%	100.0%

※自宅とは、「専門家による介助がない自宅分娩のこと」とした。

表8-1-12 0日・0か月児事例における自宅内での出産場所(第1次から第14次報告までの累計)

区分	0日児		0か月児		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	35 (0)	38.0%	1 (0)	16.7%	36 (0)	36.7%
風呂場	11 (0)	12.0%	0 (0)	0.0%	11 (0)	11.2%
その他	8 (2)	8.7%	1 (0)	16.7%	9 (2)	9.2%
不明	38 (2)	41.3%	4 (0)	66.7%	42 (2)	42.9%
計	92 (4)	100.0%	6 (0)	100.0%	98 (4)	100.0%

③ 0日・0か月児事例における養育者の状況

ア 実母の年齢

0日・0か月児事例における実母の年齢について、平成28年度に把握した事例では、0日児の実母の年齢は「20～24歳」が4人(36.4%)であり、0か月児の実母の年齢は「30～34歳」「35～39歳」がそれぞれ2人(40.0%)であった。

また、第1次報告から第14次報告までの累計でみると、0日・0か月児事例の実母の年齢は、日齢0日児事例では、「19歳以下」が36人(有効割合27.3%)で最も多く、月齢0か月児事例では、「35～39歳」が10人(同41.7%)と最も多かった。日齢0日児事例においては、実母の年齢が若いという特徴がみられている。

表8-1-13 0日・0か月児事例における実母の年齢(第14次)

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
19歳以下	2 (0)	18.2%	0 (0)	0.0%
20～24歳	4 (0)	36.4%	1 (0)	20.0%
25～29歳	2 (2)	18.2%	0 (0)	0.0%
30～34歳	1 (0)	9.1%	2 (0)	40.0%
35～39歳	1 (0)	9.1%	2 (0)	40.0%
40歳以上	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
不明	1 (1)	9.1%	0 (0)	0.0%
計	11 (3)	100.0%	5 (0)	100.0%

表 8-1-14 0日・0か月児事例の実母の年齢（第1次から第14次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	36 (0)	26.7%	27.3%	4 (0)	16.7%	16.7%	40 (0)	25.2%	25.6%
20-24歳	27 (0)	20.0%	20.5%	3 (0)	12.5%	12.5%	30 (0)	18.9%	19.2%
25-29歳	23 (2)	17.0%	17.4%	1 (0)	4.2%	4.2%	24 (2)	15.1%	15.4%
30-34歳	17 (1)	12.6%	12.9%	6 (0)	25.0%	25.0%	23 (1)	14.5%	14.7%
35-39歳	18 (1)	13.3%	13.6%	10 (0)	41.7%	41.7%	28 (1)	17.6%	17.9%
40歳以上	11 (0)	8.1%	8.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	11 (0)	6.9%	7.1%
不明	3 (1)	2.2%		0 (0)	0.0%		3 (1)	1.9%	
計	135 (5)	100.0%	100.0%	24 (0)	100.0%	100.0%	159 (5)	100.0%	100.0%

イ 実母の世帯の状況について

0日・0か月児事例における実母の世帯の状況について、平成28年度に把握した0日児事例では、「実父母」「一人親（離婚）」「一人親（未婚）」がそれぞれ2人（有効割合18.2%）であった。初産婦、経産婦別にみると、初産婦では「実父母」「一人親（未婚）」がそれぞれ3人（42.9%）であった。

また、祖父母の同居者の有無については、0日児事例では「同居あり」が5人（同45.5%）で、「母方祖父母」が4人（同36.4%）であった。

0か月児事例では「同居あり」が1人（同20.0%）で、「母方祖父母」であった。

表 8-1-15 0日・0か月児事例における実母の世帯の状況（第14次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実父母	2 (0)	18.2%	18.2%	3 (0)	60.0%	60.0%
一人親(離婚)	2 (1)	18.2%	18.2%	0 (0)	0.0%	0.0%
一人親(未婚)	2 (0)	18.2%	18.2%	1 (0)	20.0%	20.0%
一人親(別居)	1 (1)	9.1%	9.1%	1 (0)	20.0%	20.0%
内縁関係	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	4 (1)	36.4%	36.4%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	0 (0)	0.0%		0 (0)	0.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

表8-1-16 初産婦・経産婦における実母の世帯の状況（第14次）

区分	初産婦		経産婦		不明	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実父母	3 (0)	42.9%	3 (0)	33.3%	0 (0)	0.0%
一人親(離婚)	0 (0)	0.0%	2 (1)	22.2%	0 (0)	0.0%
一人親(未婚)	3 (0)	42.9%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
一人親(別居)	0 (0)	0.0%	1 (1)	11.1%	0 (0)	0.0%
内縁関係	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
その他	1 (0)	14.3%	3 (1)	33.3%	0 (0)	0.0%
不明	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
計	7 (0)	100.0%	9 (3)	100.0%	0 (0)	0.0%

表8-1-17 0日・0か月児事例における祖父母との同居状況（第14次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
同居なし	6 (2)	54.5%	54.5%	4 (0)	80.0%	80.0%
同居あり	5 (1)	45.5%	45.5%	1 (0)	20.0%	20.0%
母方祖母	1 (0)	9.1%	9.1%	0 (0)	0.0%	0.0%
母方祖父	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
母方祖父母	4 (1)	36.4%	36.4%	1 (0)	20.0%	20.0%
父方祖父母	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	0 (0)	0.0%		0 (0)	0.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

ウ 実母の世帯の経済状況について

0日・0か月児事例における実母の世帯の経済状況について、平成28年度に把握した事例では、当該世帯の家計を支えている者は、0日児事例では「母方祖父」が3人（有効割合33.3%）で最も多く、実母の就業状況は「無職」が6人（同60.0%）と最も多かった。

表8-1-18 当該世帯の家計を支えている者（第14次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母自身	2 (1)	18.2%	22.2%	0 (0)	0.0%	0.0%
実父	1 (1)	9.1%	11.1%	3 (0)	60.0%	75.0%
母方祖母	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
母方祖父	3 (1)	27.3%	33.3%	1 (0)	20.0%	25.0%
父方祖母	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
父方祖父	1 (0)	9.1%	11.1%	0 (0)	0.0%	0.0%
その他	2 (0)	18.2%	22.2%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	2 (0)	18.2%		1 (0)	20.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

表 8-1-19 世帯収入の状況（第 14 次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	20.0%	20.0%
市町村民税非課税世帯	1 (1)	9.1%	14.3%	0 (0)	0.0%	0.0%
市町村民税課税世帯 (年収500万円未満)	4 (0)	36.4%	57.1%	3 (0)	60.0%	60.0%
年収500万円以上	2 (0)	18.2%	28.6%	1 (0)	20.0%	20.0%
不明	4 (2)	36.4%		0 (0)	0.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

表 8-1-20 実母の就業状況（第 14 次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
無職	6 (2)	54.5%	60.0%	3 (0)	60.0%	60.0%
フルタイム	2 (1)	18.2%	20.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
パート	2 (0)	18.2%	20.0%	2 (0)	40.0%	40.0%
不明	1 (0)	9.1%		0 (0)	0.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

エ 実母の妊娠期における問題について

0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題については、0日児事例では、全ての事例において「母子健康手帳の未交付」「妊婦健康診査未受診」の問題があった。

表 8-1-21 0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題（複数回答）（第 14 次）

区分	0日児(11人)		0か月児(5人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
予期しない妊娠／計画していない妊娠	9 (1)	81.8%	3 (0)	60.0%
若年(10代)妊娠	2 (0)	18.2%	0 (0)	0.0%
母子健康手帳の未交付	11 (3)	100.0%	2 (0)	40.0%
妊婦健康診査未受診	11 (3)	100.0%	3 (0)	60.0%

表 8-1-22 初産婦・経産婦における実母の妊娠期の問題（複数回答）（第 14 次）

区分	初産婦(7人)		経産婦(9人)		不明(0人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
予期しない妊娠／計画していない妊娠	4 (0)	57.1%	5 (1)	55.6%	0 (0)	0.0%
若年(10代)妊娠	2 (0)	28.6%	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
母子健康手帳の未交付	4 (0)	57.1%	7 (3)	77.8%	0 (0)	0.0%
妊婦健康診査未受診	4 (0)	57.1%	7 (3)	77.8%	0 (0)	0.0%

オ 実父の状況について

0日・0か月児事例における実父の状況について、平成 28 年度に把握した事例において、0日児事例では、実父は「いない」が3人（有効割合 30.0%）、「不明」が1人（9.1%）であった。

また、第1次報告から第14次報告までの累計でも、妊娠後から出産までの間の実父の存在が確認できない事例が非常に多く、そのため、0日児事例では、実父の年齢が「不明」である事例は89人（72.4%）と、日齢0日児事例全体の7割以上を占め、0日・0か月児事例においても合計数94人（64.4%）と全体の6割強を占めるなど、実父に関する情報が得られる事例は少なかった。

表 8-1-23 0日・0か月児事例の実父の状況（第 14 次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
いる(同居)	3 (1)	27.3%	30.0%	3 (0)	60.0%	75.0%
いる(別居)	4 (1)	36.4%	40.0%	1 (0)	20.0%	25.0%
いない	3 (1)	27.3%	30.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	1 (0)	9.1%		1 (0)	20.0%	
計	11 (3)	100.0%	100.0%	5 (0)	100.0%	100.0%

表8-1-24 0日・0か月児事例の実父の年齢（第1次から第14次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	10	8.1%	29.4%	1	4.3%	5.6%	11	7.5%	21.2%
20-24歳	6	4.9%	17.6%	3	13.0%	16.7%	9	6.2%	17.3%
25-29歳	2	1.6%	5.9%	0	0.0%	0.0%	2	1.4%	3.8%
30-34歳	3	2.4%	8.8%	3	13.0%	16.7%	6	4.1%	11.5%
35-39歳	2	1.6%	5.9%	5	21.7%	27.8%	7	4.8%	13.5%
40歳以上	11	8.9%	32.4%	6	26.1%	33.3%	17	11.6%	32.7%
不明	89	72.4%		5	21.7%		94	64.4%	
計	123	100.0%	100.0%	23	100.0%	100.0%	146	100.0%	100.0%

※実父の有無について「いない」「不明」と回答した事例を除く

④ 0日・0か月児事例における行政機関の関与状況

0日・0か月児事例における行政機関の関与状況について、平成28年度に把握した事例では、0日児事例では「医療機関」の関与があった事例が4人(36.4%)、次いで「福祉事務所」の関与があった事例が1人(9.1%)であった。

表8-1-25 0日・0か月児事例の関係機関の関与あり（第14次）

区分	0日児(11人)		0か月児(5人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
児童相談所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
市町村(虐待対応担当部署)	0(0)	0.0%	1(0)	20.0%
福祉事務所	1(1)	9.1%	2(0)	40.0%
家庭児童相談室	0(0)	0.0%	1(0)	20.0%
児童委員	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
保健所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	0(0)	0.0%	3(0)	60.0%
養育機関・教育機関	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
医療機関	4(1)	36.4%	2(0)	40.0%
助産師	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
警察	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%
婦人相談所	0(0)	0.0%	0(0)	0.0%

(2) 精神疾患のある養育者における事例について

① 精神疾患のある実母における事例の発生状況

本報告書において、「精神疾患のある養育者」とは、医師による診断のある者とする（以下「精神疾患あり」と表記）。一方、精神疾患に関する診断名がついていない養育者（その疑いや可能性のある場合を含む）については、「精神疾患のない養育者」（以下「精神疾患なし」と表記）とし、それ以外の者は「不明」とする。

精神疾患のある養育者の中で実母が加害者であった（以下「精神疾患のある実母」という。）事例について、第5次報告から第14次報告までの累計では119例（135人）であった。そのうち、心中以外の虐待死事例は51例（52人）、心中による虐待死事例は68例（83人）であった。

一方、精神疾患のない養育者の中で実母が加害者であった（以下「精神疾患のない実母」という。）事例数と死亡した子どもの人数は、第5次報告から第14次報告までの累計では229例（255人）であり、そのうち、心中以外の虐待死事例は166例（170人）、心中による虐待死事例は63例（85人）であった。

表8-2-1 虐待の加害者が実母であった事例とその子どもの死亡人数の推移

年次	心中以外の虐待死						心中による虐待死(未遂含む)						総数	
	精神疾患あり		精神疾患なし		不明		精神疾患あり		精神疾患なし		不明			
	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数
第5次報告	7	7	10	10	29	33	5	5	6	9	22	35	79	99
第6次報告	2	2	18	19	25	25	7	7	8	10	16	23	76	86
第7次報告	2	2	16	16	15	17	2	3	5	6	10	12	50	56
第8次報告	7	7	7	7	17	20	13	14	6	9	8	10	58	67
第9次報告	6	6	24	26	9	9	8	9	7	10	11	17	65	77
第10次報告	7	8	15	15	19	19	7	9	4	4	12	16	64	71
第11次報告	4	4	14	14	6	6	5	5	7	8	5	7	41	44
第12次報告	5	5	16	16	12	13	7	9	6	8	5	6	51	57
第13次報告	5(2)	5(2)	18(4)	19(4)	10(1)	10(1)	10(0)	17(0)	9(0)	10(0)	2(0)	2(0)	54(7)	63(7)
第14次報告	6(1)	6(1)	28(10)	28(10)	8(4)	8(4)	4(1)	5(1)	5(1)	11(2)	6(0)	7(0)	57(17)	65(18)
計	51	52	166	170	150	160	68	83	63	85	97	135	595	685

② 実母の状況

ア 診断名（疾病、傷害及び死因分類）

精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、心中以外の虐待死事例では、「うつ病」や「双極性感情障害」といった「気分[感情]障害」が24例と最も多く、心中による虐待死事例についても、「気分[感情]障害」が42例と最も多かった。

なお、「詳細不明の精神障害」となっているものは、精神科の受診歴はあるが、行政が正確な診断名を把握していないもの、あるいは検査中などの理由で確定診断がつけられる前に虐待死事例が発生したものなどが含まれている。

表8-2-2 精神疾患のある実母の診断名（疾病、傷害及び死因分類）（複数回答）^{注1)}

（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死(51例)	心中による虐待死(未遂含む) (68例)
症状性を含む器質性精神障害	0 (0)	0 (0)
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	0 (0)	0 (0)
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	23 (0)	12 (1)
気分[感情]障害	24 (1)	42 (0)
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	10 (2)	17 (0)
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	4 (0)	4 (0)
成人の人格及び行動の障害	3 (0)	2 (0)
知的障害<精神発達遅滞>	1 (0)	0 (0)
心理的発達の障害	0 (0)	1 (0)
小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	0 (0)	0 (0)
詳細不明の精神障害	4 (0)	7 (0)

^{注1)} 回答のあった診断名について、世界保健機関（WHO）により定められた「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改訂」（ICD-10）に基づいて我が国で使用する「疾病、傷害及び死因分類」をもとに分類した。

イ 子どもの死亡時における実母の年齢

子どもの死亡時における実母の年齢について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「35歳～39歳」が17例（33.3%）と最も多く、次いで「30歳～34歳」「40歳以上」がそれぞれ11例（21.6%）であった。また、心中による虐待死事例は、「35歳～39歳」「40歳以上」が23例（33.8%）と最も多かった。特に、30歳以上が全体の約8割を超えていた。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「20歳～24歳」が52例（31.3%）と最も多く、次いで「25歳～29歳」が33例（19.9%）であった。心中による虐待死事例は、「30歳～34歳」が21例（33.3%）と最も多く、次いで「40歳以上」が17例（27.0%）であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、年齢の高い傾向にある。

表8-2-3-1 子どもの死亡時における実母の年齢 **（精神疾患あり）**

（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	1 (0)	2.0%	0 (0)	0.0%	1 (0)	0.8%
20歳～24歳	3 (1)	5.9%	3 (0)	4.4%	6 (1)	5.0%
25歳～29歳	8 (0)	15.7%	10 (0)	14.7%	18 (0)	15.1%
30歳～34歳	11 (0)	21.6%	9 (0)	13.2%	20 (0)	16.8%
35歳～39歳	17 (0)	33.3%	23 (0)	33.8%	40 (0)	33.6%
40歳以上	11 (2)	21.6%	23 (1)	33.8%	34 (3)	28.6%
計	51 (3)	100.0%	68 (1)	100.0%	119 (4)	100.0%

表8-2-3-2 子どもの死亡時における実母の年齢 (精神疾患なし)

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	14 (1)	8.4%	2 (0)	3.2%	16 (1)	7.0%
20歳～24歳	52 (3)	31.3%	3 (0)	4.8%	55 (3)	24.0%
25歳～29歳	33 (2)	19.9%	4 (0)	6.3%	37 (2)	16.2%
30歳～34歳	25 (2)	15.1%	21 (0)	33.3%	46 (2)	20.1%
35歳～39歳	31 (4)	18.7%	16 (1)	25.4%	47 (5)	20.5%
40歳以上	11 (2)	6.6%	17 (0)	27.0%	28 (2)	12.2%
計	166 (14)	100.0%	63 (1)	100.0%	229 (15)	100.0%

ウ 実母の妊娠期・周産期の問題

実母の妊娠期・周産期の問題について、第5次報告から第14次報告までの累計で見ると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が14人

(26.9%)と最も多く、次いで「妊婦健診未受診」が9人(17.3%)であった。また、心中による虐待死事例は、「マタニティブルーズ」が7人(8.4%)で最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「予期しない妊娠／計画していない妊娠」が79人(46.5%)、次いで「妊婦健診未受診」が69人(40.6%)であった。

なお、精神疾患のある実母における事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、「マタニティブルーズ」の割合が高い傾向にある。

表 8-2-4-1 妊娠期・周産期の問題 **(精神疾患あり)** (複数回答)

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (52人)		心中による虐待死(未遂含む) (83人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	4 (2)	7.7%	5 (0)	6.0%
妊娠高血圧症候群	5 (0)	9.6%	4 (0)	4.8%
喫煙の常習	8 (2)	15.4%	6 (0)	7.2%
アルコールの常習	2 (0)	3.8%	4 (0)	4.8%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	0 (0)	0.0%	0 (0)	0.0%
マタニティブルーズ	5 (1)	9.6%	7 (0)	8.4%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	14 (3)	26.9%	4 (0)	4.8%
若年(10代)妊娠	4 (1)	7.7%	3 (0)	3.6%
お腹をたたく等の墮胎行為	0 (0)	0.0%	1 (0)	1.2%
母子健康手帳の未交付	2 (0)	3.8%	1 (0)	1.2%
妊婦健診未受診	9 (0)	17.3%	3 (0)	3.6%
胎児虐待	2 (0)	3.8%	0 (0)	0.0%
その他	1 (0)	1.9%	3 (0)	3.6%

表 8-2-4-2 妊娠期・周産期の問題 **(精神疾患なし)** (複数回答)

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (170人)		心中による虐待死(未遂含む) (85人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	18 (2)	10.6%	6 (0)	7.1%
妊娠高血圧症候群	3 (0)	1.8%	2 (0)	2.4%
喫煙の常習	23 (0)	13.5%	3 (0)	3.5%
アルコールの常習	9 (0)	5.3%	0 (0)	0.0%
違法薬物の使用／薬物の過剰摂取等	1 (1)	0.6%	0 (0)	0.0%
マタニティブルーズ	6 (0)	3.5%	4 (0)	4.7%
予期しない妊娠／計画していない妊娠	79 (9)	46.5%	5 (0)	5.9%
若年(10代)妊娠	39 (2)	22.9%	2 (0)	2.4%
お腹をたたく等の墮胎行為	3 (0)	1.8%	0 (0)	0.0%
母子健康手帳の未交付	46 (2)	27.1%	1 (0)	1.2%
妊婦健診未受診	69 (8)	40.6%	5 (0)	5.9%
胎児虐待	11 (0)	6.5%	0 (0)	0.0%
その他	8 (2)	4.7%	0 (0)	0.0%

③ 精神疾患のある実母における事例の概要

ア 死亡につながった虐待の類型

死亡につながった虐待の類型について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が40人（有効割合85.1%）、「ネグレクト」が7人（同14.9%）であり、心中による虐待死事例では、「身体的虐待」が80人（同100.0%）であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が91人（同56.5%）、次いで「ネグレクト」が70人（同43.5%）であり、心中による虐待死事例は、「身体的虐待」が84人（同100.0%）であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、直接の死因として身体的虐待が全体に占める割合が高い傾向にある。

表8-2-5-1 実母による虐待の類型（精神疾患あり）（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	40 (2)	76.9%	85.1%	80 (1)	96.4%	100.0%	120 (3)	88.9%	94.5%
ネグレクト	7 (0)	13.5%	14.9%	0 (0)	0.0%	0.0%	7 (0)	5.2%	5.5%
心理的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
性的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	5 (1)	9.6%		3 (0)	3.6%		8 (1)	5.9%	
計	52 (3)	100.0%	100.0%	83 (1)	100.0%	100.0%	135 (4)	100.0%	100.0%

表8-2-5-2 実母による虐待の類型（精神疾患なし）（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	91 (5)	53.5%	56.5%	84 (2)	98.8%	100.0%	175 (7)	68.6%	71.4%
ネグレクト	70 (8)	41.2%	43.5%	0 (0)	0.0%	0.0%	70 (8)	27.5%	28.6%
心理的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
性的虐待	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
不明	9 (1)	5.3%		1 (0)	1.2%		10 (1)	3.9%	
計	170 (14)	100.0%	100.0%	85 (2)	100.0%	100.0%	255 (16)	100.0%	100.0%

イ 直接の死因

直接の死因について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、死因が判明したもののうち、「頸部絞扼による窒息」が14人（有効割合29.8%）で最も多く、次いで「頭部外傷」「溺水」がそれぞれ5人（同10.6%）であった。また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が31人（同38.8%）で最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が13人（同16.3%）であった。

一方、精神疾患のない実母による心中以外の虐待死事例では、「頭部外傷」が32人（同22.5%）で最も多く、次いで「頸部絞扼以外による窒息」が27人（同19.0%）であった。

また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が26人（同32.5%）で最も多く、次いで「溺水」が13人（同16.3%）であった。

年齢別の直接死因についてみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例の中では、14人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「0歳」「1歳」がそれぞれ4人と最も多く、「11歳」が2人であった。心中による虐待死事例においても、「頸部絞扼による窒息」が31人と最も多く、「4歳」が4人、「5歳」「6歳」「8歳」「9歳」がそれぞれ3人であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、32人と最も多い「頭部外傷」において、「0歳」が14人、「1歳」が8人であった。心中による虐待死事例は、26人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「11歳」が4人で最も多く、次いで「0歳」「1歳」「8歳」が3人であった。

表8-2-6-1 直接の死因 **(精神疾患あり)**

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	5 (1)	9.6%	10.6%	1 (0)	1.2%	1.3%	6 (1)	4.4%	4.7%
胸部外傷	3 (0)	5.8%	6.4%	1 (0)	1.2%	1.3%	4 (0)	3.0%	3.1%
腹部外傷	2 (1)	3.8%	4.3%	3 (0)	3.6%	3.8%	5 (1)	3.7%	3.9%
外傷性ショック	2 (0)	3.8%	4.3%	3 (0)	3.6%	3.8%	5 (0)	3.7%	3.9%
頸部絞扼による窒息	14 (0)	26.9%	29.8%	31 (1)	37.3%	38.8%	45 (1)	33.3%	35.4%
頸部絞扼以外による窒息	4 (0)	7.7%	8.5%	2 (0)	2.4%	2.5%	6 (0)	4.4%	4.7%
溺水	5 (0)	9.6%	10.6%	7 (0)	8.4%	8.8%	12 (0)	8.9%	9.4%
熱傷	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	2 (0)	3.8%	4.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	1.5%	1.6%
中毒(火災によるものを除く)	1 (0)	1.9%	2.1%	13 (0)	15.7%	16.3%	14 (0)	10.4%	11.0%
出血性ショック	1 (0)	1.9%	2.1%	5 (0)	6.0%	6.3%	6 (0)	4.4%	4.7%
低栄養による衰弱	1 (0)	1.9%	2.1%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	0.7%	0.8%
脱水	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
凍死	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	1 (0)	1.9%	2.1%	8 (0)	9.6%	10.0%	9 (0)	6.7%	7.1%
病死	2 (1)	3.8%	4.3%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (1)	1.5%	1.6%
その他	4 (0)	7.7%	8.5%	6 (0)	7.2%	7.5%	10 (0)	7.4%	7.9%
不明	5 (0)	9.6%	/	3 (0)	3.6%	/	8 (0)	5.9%	/
計	52 (3)	100.0%	100.0%	83 (1)	100.0%	100.0%	135 (4)	100.0%	100.0%

表8-2-6-2 直接の死因 **(精神疾患なし)**

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	32 (3)	18.8%	22.5%	5 (0)	5.9%	6.3%	37 (3)	14.5%	16.7%
胸部外傷	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	2.4%	2.5%	2 (0)	0.8%	0.9%
腹部外傷	4 (0)	2.4%	2.8%	3 (0)	3.5%	3.8%	7 (0)	2.7%	3.2%
外傷性ショック	1 (0)	0.6%	0.7%	2 (0)	2.4%	2.5%	3 (0)	1.2%	1.4%
頸部絞扼による窒息	13 (0)	7.6%	9.2%	26 (0)	30.6%	32.5%	39 (0)	15.3%	17.6%
頸部絞扼以外による窒息	27 (1)	15.9%	19.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	27 (1)	10.6%	12.2%
溺水	15 (0)	8.8%	10.6%	13 (0)	15.3%	16.3%	28 (0)	11.0%	12.6%
熱傷	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	4 (0)	2.4%	2.8%	0 (0)	0.0%	0.0%	4 (0)	1.6%	1.8%
中毒(火災によるものを除く)	0 (0)	0.0%	0.0%	12 (0)	14.1%	15.0%	12 (0)	4.7%	5.4%
出血性ショック	1 (0)	0.6%	0.7%	5 (0)	5.9%	6.3%	6 (0)	2.4%	2.7%
低栄養による衰弱	7 (0)	4.1%	4.9%	0 (0)	0.0%	0.0%	7 (0)	2.7%	3.2%
脱水	2 (0)	1.2%	1.4%	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	0.8%	0.9%
凍死	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	15 (1)	8.8%	10.6%	8 (0)	9.4%	10.0%	23 (1)	9.0%	10.4%
病死	4 (1)	2.4%	2.8%	0 (0)	0.0%	0.0%	4 (1)	1.6%	1.8%
その他	17 (4)	10.0%	12.0%	4 (0)	4.7%	5.0%	21 (4)	8.2%	9.5%
不明	28 (4)	16.5%	/	5 (1)	5.9%	/	33 (6)	12.9%	/
計	170 (14)	100.0%	100.0%	85 (2)	100.0%	100.0%	255 (16)	100.0%	100.0%

表8-2-7-1 年齢別の直接死因（精神疾患あり）（第5次から第14次報告までの累計）（心中以外）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	3(1)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(1)
胸部外傷	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
腹部外傷	1(1)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
外傷性ショック	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
頸部絞扼による窒息	4(0)	4(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	14(0)
頸部絞扼以外による窒息	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
溺水	4(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
車中放置による熱中症・脱水	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
中毒(火災によるものを除く)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
出血性ショック	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
低栄養による衰弱	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)
脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
病死	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)
その他	3(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	4(0)
不明	1(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	5(0)
計	23(2)	8(1)	3(0)	4(0)	2(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)	0(0)	2(0)	2(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	52(3)

表8-2-7-2 年齢別の直接死因（精神疾患あり）（第5次から第14次報告までの累計）（心中）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	総数
頭部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
胸部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)
腹部外傷	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
外傷性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	3(0)
頸部絞扼による窒息	1(0)	2(0)	2(0)	1(0)	4(0)	3(0)	3(0)	1(0)	3(0)	3(1)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	31(1)
頸部絞扼以外による窒息	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)
溺水	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	7(0)
熱傷	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
車中放置による熱中症・脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
中毒(火災によるものを除く)	1(0)	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	3(0)	1(0)	1(0)	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	13(0)
出血性ショック	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	5(0)
低栄養による衰弱	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
脱水	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
凍死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	0(0)	8(0)
病死	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	1(0)	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	6(0)
不明	1(0)	2(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
計	7(0)	6(0)	3(0)	10(0)	4(0)	8(0)	7(0)	3(0)	6(0)	7(1)	4(0)	5(0)	6(0)	2(0)	2(0)	2(0)	1(0)	0(0)	83(1)

表8-2-8-1 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第14次報告までの累計）（心中以外）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	14 (2)	8 (1)	1 (0)	3 (0)	2 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	32 (3)
胸部外傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
腹部外傷	1 (0)	2 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
外傷性ショック	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
頸部絞扼による窒息	6 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	13 (0)
頸部絞扼以外による窒息	20 (1)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	27 (1)
溺水	12 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)
熱傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
車中放置による熱中症・脱水	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
中毒（火災によるものを除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
出血性ショック	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
低栄養による衰弱	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (0)
脱水	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
凍死	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0 (0)	1 (1)	4 (0)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (1)
病死	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (1)
その他	10 (3)	1 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (4)
不明	24 (2)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	28 (4)
計	91 (8)	25 (3)	11 (0)	16 (1)	8 (0)	7 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	170 (14)

表8-2-8-2 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第14次報告までの累計）（心中）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	総数
頭部外傷	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
胸部外傷	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
腹部外傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
外傷性ショック	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
頸部絞扼による窒息	3 (0)	3 (0)	1 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	2 (0)	4 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (0)
頸部絞扼以外による窒息	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
溺水	5 (0)	1 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (0)
熱傷	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
車中放置による熱中症・脱水	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
中毒（火災によるものを除く）	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	12 (0)
出血性ショック	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (0)
低栄養による衰弱	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
脱水	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
凍死	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (0)
病死	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
その他	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)
不明	2 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	5 (2)
計	19 (0)	9 (0)	4 (0)	7 (0)	7 (0)	5 (0)	6 (1)	6 (0)	7 (0)	1 (0)	6 (0)	4 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	85 (2)

ウ 死亡時の子どもの年齢

死亡時の子どもの年齢について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が23人（有効割合45.1%）と最も多く、次いで「1歳」が8人（同15.7%）、「3歳」が4人（同7.8%）であった。また、心中による虐待死事例では、「0歳」が際立って多いという特徴は認められず、概ねどの年齢でも発生している。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が91人（同54.5%）と最も多く、次いで「1歳」が25人（同15.0%）であり、心中による虐待死事例では、「0歳」が19人（同22.4%）と最も多く、次いで「1歳」が9人（同10.6%）であった。

表8-2-9-1 子どもの死亡時の年齢（精神疾患あり）（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	23 (2)	44.2%	45.1%	7 (0)	8.4%	8.4%	30 (2)	22.2%	22.4%
1歳	8 (1)	15.4%	15.7%	6 (0)	7.2%	7.2%	14 (1)	10.4%	10.4%
2歳	3 (0)	5.8%	5.9%	3 (0)	3.6%	3.6%	6 (0)	4.4%	4.5%
3歳	4 (0)	7.7%	7.8%	10 (0)	12.0%	12.0%	14 (0)	10.4%	10.4%
4歳	2 (0)	3.8%	3.9%	4 (0)	4.8%	4.8%	6 (0)	4.4%	4.5%
5歳	1 (0)	1.9%	2.0%	8 (0)	9.6%	9.6%	9 (0)	6.7%	6.7%
6歳	1 (0)	1.9%	2.0%	7 (0)	8.4%	8.4%	8 (0)	5.9%	6.0%
7歳	1 (0)	1.9%	2.0%	3 (0)	3.6%	3.6%	4 (0)	3.0%	3.0%
8歳	0 (0)	0.0%	0.0%	6 (0)	7.2%	7.2%	6 (0)	4.4%	4.5%
9歳	2 (0)	3.8%	3.9%	7 (1)	8.4%	8.4%	9 (1)	6.7%	6.7%
10歳	0 (0)	0.0%	0.0%	4 (0)	4.8%	4.8%	4 (0)	3.0%	3.0%
11歳	2 (0)	3.8%	3.9%	5 (0)	6.0%	6.0%	7 (0)	5.2%	5.2%
12歳	2 (0)	3.8%	3.9%	6 (0)	7.2%	7.2%	8 (0)	5.9%	6.0%
13歳	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	2.4%	2.4%	2 (0)	1.5%	1.5%
14歳	1 (0)	1.9%	2.0%	2 (0)	2.4%	2.4%	3 (0)	2.2%	2.2%
15歳	0 (0)	0.0%	0.0%	2 (0)	2.4%	2.4%	2 (0)	1.5%	1.5%
16歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.2%	1.2%	1 (0)	0.7%	0.7%
17歳	1 (0)	1.9%	2.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	0.7%	0.7%
不明	1 (0)	1.9%		0 (0)	0.0%		1 (0)	0.7%	
計	52 (3)	100.0%	100.0%	83 (1)	100.0%	100.0%	135 (4)	100.0%	100.0%

表8-2-9-2 子どもの死亡時の年齢 (精神疾患なし) (第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			総数		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
0歳	91 (8)	53.5%	54.5%	19 (0)	22.4%	22.4%	110 (8)	43.1%	43.7%
1歳	25 (3)	14.7%	15.0%	9 (1)	10.6%	10.6%	34 (4)	13.3%	13.5%
2歳	11 (0)	6.5%	6.6%	4 (0)	4.7%	4.7%	15 (0)	5.9%	6.0%
3歳	16 (1)	9.4%	9.6%	7 (0)	8.2%	8.2%	23 (1)	9.0%	9.1%
4歳	8 (0)	4.7%	4.8%	7 (0)	8.2%	8.2%	15 (0)	5.9%	6.0%
5歳	7 (0)	4.1%	4.2%	5 (0)	5.9%	5.9%	12 (0)	4.7%	4.8%
6歳	1 (0)	0.6%	0.6%	6 (1)	7.1%	7.1%	7 (1)	2.7%	2.8%
7歳	2 (0)	1.2%	1.2%	6 (0)	7.1%	7.1%	8 (0)	3.1%	3.2%
8歳	0 (0)	0.0%	0.0%	7 (0)	8.2%	8.2%	7 (0)	2.7%	2.8%
9歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.2%	1.2%	1 (0)	0.4%	0.4%
10歳	1 (0)	0.6%	0.6%	6 (0)	7.1%	7.1%	7 (0)	2.7%	2.8%
11歳	2 (0)	1.2%	1.2%	4 (0)	4.7%	4.7%	6 (0)	2.4%	2.4%
12歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.2%	1.2%	1 (0)	0.4%	0.4%
13歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.2%	1.2%	1 (0)	0.4%	0.4%
14歳	3 (2)	1.8%	1.8%	1 (0)	1.2%	1.2%	4 (2)	1.6%	1.6%
15歳	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
16歳	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%	0 (0)	0.0%	0.0%
17歳	0 (0)	0.0%	0.0%	1 (0)	1.2%	1.2%	1 (0)	0.4%	0.4%
不明	3 (0)	1.8%		0 (0)	0.0%		3 (0)	1.2%	
計	170 (14)	100.0%	100.0%	85 (2)	100.0%	100.0%	255 (16)	100.0%	100.0%

エ 虐待を受けた子どもの性別

虐待を受けた子どもの性別について、第5次から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外及び心中による虐待死事例では、「男」67人(49.6%)、「女」68人(50.4%)とそれぞれ半数であった。

表8-2-10 子どもの性別 (精神疾患あり) (第5次から第14次報告までの累計)

区分	人数	構成割合
男	67 (1)	49.6%
女	68 (3)	50.4%
計	135 (4)	100.0%

オ 子どもの情緒・行動上の問題等

子どもの情緒・行動上の問題等について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が15人（有効割合 33.3%）であり、そのうち「夜泣き」が9人と最も多かった。また、心中による虐待死事例では、「あり」が17人（同 28.8%）であり、そのうち「衝動性」「かんしゃく」がそれぞれ6人と最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が36人（同 27.9%）であり、そのうち「指示に従わない」が11人と最も多く、心中による虐待死事例では、「あり」が10人（同 14.9%）であり、そのうち「ミルクの飲みムラ」「多動」がそれぞれ4人と最も多かった。

表8-2-10-1 子どもの情緒・行動上の問題等（**精神疾患あり**）（複数回答）

（第5次から第14次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死 (52人)			心中による虐待死(未遂含む) (83人)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	30 (2)	57.7%	66.7%	42 (1)	50.6%	71.2%
あり	15 (1)	28.8%	33.3%	17 (0)	20.5%	28.8%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	2 (1)		1 (0)		
	激しい泣き	7 (0)		2 (0)		
	夜泣き	9 (1)		2 (0)		
	食事の拒否	1 (0)		0 (0)		
	夜尿	2 (1)		2 (0)		
	多動	3 (0)		5 (0)		
	衝動性	2 (0)		6 (0)		
	かんしゃく	5 (0)		6 (0)		
	自傷行為	1 (0)		2 (0)		
	性器いじり	1 (0)		1 (0)		
	指示に従わない	5 (0)		5 (0)		
	なつかない	2 (1)		1 (0)		
	無表情、表情が乏しい	1 (0)		1 (0)		
	固まってしまう	1 (0)		0 (0)		
	盗癖	0 (0)		1 (0)		
	虚言癖	1 (0)		1 (0)		
	不登校	1 (0)		1 (0)		
	その他	4 (0)		6 (0)		
不明	7 (0)	13.5%		24 (0)	28.9%	

表8-2-10-2 子どもの情緒・行動上の問題等 (精神疾患なし) (複数回答)

(第5次から第14次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (170人)			心中による虐待死(未遂含む) (85人)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	93 (9)	54.7%	72.1%	57 (2)	67.1%	85.1%
あり	36 (2)	21.2%	27.9%	10 (0)	11.8%	14.9%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	7 (0)		4 (0)		
	激しい泣き	10 (0)		2 (0)		
	夜泣き	6 (0)		2 (0)		
	食事の拒否	7 (0)		1 (0)		
	夜尿	8 (0)		2 (0)		
	多動	8 (0)		4 (0)		
	衝動性	3 (0)		2 (0)		
	かんしゃく	3 (0)		1 (0)		
	自傷行為	0 (0)		0 (0)		
	性器いじり	0 (0)		0 (0)		
	指示に従わない	11 (1)		3 (0)		
	なつかない	10 (1)		0 (0)		
	無表情、表情が乏しい	7 (1)		0 (0)		
	固まってしまう	3 (1)		0 (0)		
	盗癖	2 (0)		0 (0)		
	虚言癖	0 (0)		1 (0)		
	不登校	2 (1)		0 (0)		
その他	7 (0)		3 (0)			
不明	41 (3)	24.1%		18 (0)	21.2%	

カ 支援者の有無等

支援者の有無等について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が46例(有効割合93.9%)であり、そのうち「配偶者」が30例と最も多く、次いで「行政の相談担当課」が28例であった。また、心中による虐待死事例では、「あり」が48例(同96.0%)であり、そのうち「親」が25例と最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「あり」が116例(同75.3%)であり、そのうち「配偶者」「親」がそれぞれ68例と最も多く、心中による虐待死事例では、「あり」が46例(同95.8%)であり、そのうち「親」が28例と最も多かった。

表 8-2-11-1 支援者の有無等 (精神疾患あり) (複数回答) (第5次から第14次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (51例)			心中による虐待死(未遂含む) (68例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		3 (0)	5.9%	6.1%	2 (0)	2.9%	4.0%
あり		46 (3)	90.2%	93.9%	48 (1)	70.6%	96.0%
内訳 (複数回答)	配偶者	30 (3)			18 (0)		
	親	26 (2)			25 (0)		
	配偶者の親	18 (1)			5 (0)		
	虐待者のきょうだい	9 (2)			14 (0)		
	配偶者のきょうだい	5 (1)			0 (0)		
	近所の人	2 (0)			4 (0)		
	職場の友人・知人	0 (0)			1 (0)		
	保育所などの職員	10 (1)			18 (0)		
	ベビーシッター	1 (0)			0 (0)		
	行政の相談担当課	28 (3)			19 (0)		
	職場以外の友人	0 (0)			5 (0)		
	子育てサークル	1 (0)			0 (0)		
	親類	3 (1)			4 (0)		
	その他	3 (0)			6 (1)		
不明		2 (0)	3.9%		18 (0)	26.5%	

表 8-2-11-2 支援者の有無等 (精神疾患なし) (複数回答) (第5次から第14次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死 (166例)			心中による虐待死(未遂含む) (63例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		38 (2)	22.9%	24.7%	2 (0)	3.2%	4.2%
あり		116 (11)	69.9%	75.3%	46 (0)	73.0%	95.8%
内訳 (複数回答)	配偶者	68 (7)			23 (0)		
	親	68 (4)			28 (0)		
	配偶者の親	30 (4)			10 (0)		
	虐待者のきょうだい	24 (4)			11 (0)		
	配偶者のきょうだい	6 (1)			1 (0)		
	近所の人	4 (0)			2 (0)		
	職場の友人・知人	4 (0)			4 (0)		
	保育所などの職員	28 (4)			15 (0)		
	ベビーシッター	0 (0)			0 (0)		
	行政の相談担当課	52 (4)			14 (0)		
	職場以外の友人	12 (1)			2 (0)		
	子育てサークル	0 (0)			0 (0)		
	親類	10 (1)			5 (0)		
	その他	8 (0)			4 (0)		
不明		12 (1)	7.2%		15 (1)	23.8%	

④ 関係機関の関与状況

関係機関の関与状況について、第5次報告から第14次報告までの累計でみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「児童相談所」の関与が23例（45.1%）、「市町村（虐待対応担当部署）」の関与が27例（52.9%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が43例（84.3%）であった。

心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が23例（33.8%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が24例（35.3%）であり、その他、「養育機関・教育機関」が45例（66.2%）、「医療機関」が40例（58.8%）であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例は、「児童相談所」の関与が41例（24.7%）、「市町村（虐待対応担当部署）」の関与が46例（27.7%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が96例（57.8%）、「医療機関」が74例（44.6%）であった。心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が7例（11.1%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が8例（12.7%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が42例（66.7%）、「医療機関」が27例（42.9%）であった。

また、市町村関与の状況と虐待の認識について、第5次報告から第14次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」27例（52.9%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が10例、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が9例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」24例（35.3%）のうち「虐待の認識があり対応していた」「虐待の認識はなかった」がそれぞれ9例であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」46例（27.7%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が20例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」8例（12.7%）のうち「虐待の認識はなかった」が7例であった。

表 8-2-1 2-1 関係機関の関与 (精神疾患あり)

(第 5 次から第 14 次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (51例)		心中による虐待死(未遂含む) (68例)		総数 (119例)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	23 (2)	45.1%	23 (1)	33.8%	46 (3)	38.7%	
市町村(虐待対応担当部署)	27 (3)	52.9%	24 (0)	35.3%	51 (3)	42.9%	
その他の機関	47 (3)	92.2%	64 (1)	94.1%	111 (4)	93.3%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	13 (0)	25.5%	28 (1)	41.2%	41 (1)	34.5%
	家庭児童相談室	7 (1)	13.7%	17 (0)	25.0%	24 (1)	20.2%
	児童委員	8 (0)	15.7%	5 (0)	7.4%	13 (0)	10.9%
	保健所	14 (0)	27.5%	15 (0)	22.1%	29 (0)	24.4%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	43 (3)	84.3%	35 (0)	51.5%	78 (3)	65.5%
	養育機関・教育機関	19 (1)	37.3%	45 (1)	66.2%	64 (2)	53.8%
	医療機関	39 (3)	76.5%	40 (1)	58.8%	79 (4)	66.4%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	4 (0)	7.8%	4 (0)	5.9%	8 (0)	6.7%
	警察	13 (1)	25.5%	8 (0)	11.8%	21 (1)	17.6%
	婦人相談所	0 (0)	0.0%	1 (0)	1.5%	1 (0)	0.8%

表 8-2-1 2-2 関係機関の関与 (精神疾患なし)

(第 5 次から第 14 次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死 (166例)		心中による虐待死(未遂含む) (63例)		総数 (229例)		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	41 (4)	24.7%	7 (0)	11.1%	48 (4)	21.0%	
市町村(虐待対応担当部署)	46 (6)	27.7%	8 (0)	12.7%	54 (6)	23.6%	
その他の機関	137 (12)	82.5%	57 (1)	90.5%	194 (13)	84.7%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	40 (7)	24.1%	16 (0)	25.4%	56 (7)	24.5%
	家庭児童相談室	30 (3)	18.1%	8 (0)	12.7%	38 (3)	16.6%
	児童委員	13 (0)	7.8%	5 (0)	7.9%	18 (0)	7.9%
	保健所	18 (1)	10.8%	6 (0)	9.5%	24 (1)	10.5%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	96 (10)	57.8%	42 (1)	66.7%	138 (11)	60.3%
	養育機関・教育機関	50 (7)	30.1%	28 (1)	44.4%	78 (8)	34.1%
	医療機関	74 (6)	44.6%	27 (0)	42.9%	101 (6)	44.1%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	8 (0)	4.8%	6 (0)	9.5%	14 (0)	6.1%
	警察	22 (1)	13.3%	2 (0)	3.2%	24 (1)	10.5%
	婦人相談所	4 (0)	2.4%	0 (0)	0.0%	4 (0)	1.7%

表 8-2-13-1 市町村関与の状況と虐待の認識 (精神疾患あり)

(第 5 次から第 14 次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		24 (0)	47.1%	44 (1)	64.7%	68 (1)	57.1%
市町村の関与あり		27 (3)	52.9%	24 (0)	35.3%	51 (3)	42.9%
内訳	虐待の認識があり対応していた	10 (2)	/	9 (0)	/	19 (2)	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	9 (1)		6 (0)		15 (1)	
	虐待の認識はなかった	8 (0)		9 (0)		17 (0)	
計		51 (3)	100.0%	68 (1)	100.0%	119 (4)	100.0%

表 8-2-13-2 市町村関与の状況と虐待の認識 (精神疾患なし)

(第 5 次から第 14 次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂含む)		総数	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		120 (8)	72.3%	55 (1)	87.3%	175 (9)	76.4%
市町村の関与あり		46 (6)	27.7%	8 (0)	12.7%	54 (6)	23.6%
内訳	虐待の認識があり対応していた	20 (4)	/	0 (0)	/	20 (4)	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	14 (1)		1 (0)		15 (1)	
	虐待の認識はなかった	12 (1)		7 (0)		19 (1)	
計		166 (14)	100.0%	63 (1)	100.0%	229 (15)	100.0%